



おはようロスアンゼルス

倫理研究所 U. S. A. 南カリフォルニア倫理の会

5月号会報

2202 W. Artesia Blvd. Unit L Torrance, CA 90504

Fax: (310) 323-6737

2015年(平成27年) 5月1日(金)

NO. 164

子供短歌コンクール

三人の受賞式

四月十一日(土) 午前十時三十分、協同システムバレー学園において、しきなみ子供短歌コンクールに入賞した三人の受賞式がありました。

三人はしきなみ会員、摺木洋子さんの教え子で四年生の門永トロイ賢士君、フィッシュマン葉月カリーナさん、松浦裕君です。校長先生がとても名譽なことで喜ばれ、朝礼で受賞式をして下さったのです。橋勝雄会長が招かれて出席しました。橋会長は、倫理の行事に参加して下さったことに感謝なのに、学校でこのような式をして下さって本当にうれいとい話されました。摺木さんのしきなみ短歌にかける実践がこのような喜びの結果となりました。

橋会長お疲れ様

橋会長、バレー学園へのご出張お疲れ様でした。会長はサンフランシスコ市には始めて行ったそうです。土曜の朝にもかかわらずロスアンゼルス市内を通り抜ける時の交通渋滞には驚いたが、バレー学園の古い校舎のたまたま、良い環境に感動したとおっしゃっていました。

実践報告

「普及の実践」

五班 飯田隆

ビジネスネットワークが承認されてから六ヶ月が経ちます。毎月定例会を開き、本部の先生ご出張の時はセミナーを開いて来ました。五月の末までに五十社・五十名を目標に普及活動をしています。

倫理オフィスの隣は花屋の「はなはな」さんです。倫理の行事にはお花をお願いするお店です。梅本和子さんのお声かけで、自分も先日お伺いしてお誘いして来ました。

その隣は倫理オフィスの大家さんである丸松不動産。マネージャーの大山さんに会って来ました。

その向こうが中古品売場の店「かのこ」さん。お話を始めた時はあまり気乗りしない様子だったのですが、出身を聞くと千葉県、船橋だとおっしゃるんです。「長太郎さんをご存じですか。倫理法人会の最初の法人会を作った人です。」「はい、知っています」「長太郎会館をご存知ですか」「良く知っています」と会話がはずみました。

もう一人は腰ベルトを販売している人です。自分も使っ

ていて体の調子がいいです。この人もお誘い中です。

このように普及は地味地に一人ひとりお声をかけていくのが確実な方法といえます。お知り合いの方がいたら自分が説明にいきますから是非紹介して下さい。ビジネスネットワークだけでなく、倫理の会の普及も必要です。倫理の普及を会員皆で力を合わせて実践していきましょう。

「これがよい」

三班 梅本和子

今朝、午前二時、主人が腎臓結石で入院致しました。

緊張の中にも私は、何と都合の良い時間に病院行きとなったのだろう、何か目にみえないものに守られていると心から感謝致しました。

昨日、二時間半離れたユツカバレーの義母の家に行きまして。義母は私達に近いホームで暮らしており住人の居ない家は泥棒に入られました。主人の兄弟や子供達と相談して義母の家を整理することにし朝早くから皆でユツカバレーに行きました。持ち帰る物、処分する物、書類の整理、エステーツセルの話し合いなど、全てを終えて家に

帰った時はもう夜でした。

そのうち主人が何回も吐き気を催しお腹の不調を訴えるのです。食中毒かと思いましたが同じものを食べた私は何ともありません。病院へ向かったのが午前二時でした。MRI検査を受けた結果、大きな腎臓結石が詰まっているのがわかりました。主人はそのまま入院して、結石摘出を行なうことになりました。

こんな状況なのに、薬の作用で寝ている主人を見ながら私の心は幸せに満ちていました。

これがもし昨日で、ユツカバレーにいる時だったらどうしよう、二時間半もかかる道中の途中だったらどうしようと思うと、全てが片付いて帰宅したその後に大きな苦難が来てくれたのは、私達が誰かに見守られているからに違いないと思えて心から感謝しました。そして苦難をそのように明るく受け止められる自分は幸せだと思えました。倫理の大肯定「これが良い」を長年心に留めて実践してきた結果だとうれしく思っております。

おめでとございませう

『しきなみ』四月号

群策集 (西東京・海外)

入選 松永典子

一本のか細き糸に操られ風に乘る風青空に映ゆ

真砂集 (西東京・海外)

入選 杉野和子

干魘の続く大地は今日も晴れ草木は萎えて雨を待ちわぶ

青泉集 (西東京・海外)

入選 飯田隆

同窓会恩師の声に涙する師の健康を静かに祈る

『秋津書道』四月号

競書

六席 滝川政和 芸術部 碧の部

一席 堀井幸江 高等部 (東京)

入選 立川宏子 一般部 (東京) 草書

四席 前田グレース 一般部 (東京) 行書

五席 榊中恵美子 々 々 々

八席 脇山由希 々 々 々

入選 ノーリスてるみ 一般部 (東京) 楷書

春風花子香

乙未元旦 辛巳六月

一席 堀江 幸江

布置よく筆遣い良好。落款共に作品の一部になっています。

調和体

三席 長谷川松子 高等部

春の働きは

七夜が伴う

乙未元旦 卯子六月

【3席】 乙未元旦 卯子六月

字に工夫があり、お名前までよくまとまっています。

『秋津書道』五月号

表紙写真に草野律子さんの書が掲載されています。第八回秋津賞特選に選ばれたものです。是非ご覧ください。

第一日曜日十時半 しきなみ短歌会

第四日曜日十時半 秋津書道会

毎月一度の集まりがとても楽しいのです。

趣味を通して語り、笑うのは心が

温かく豊かになります。どうぞ一度見

学に来てください。

しきなみ短歌

春あさき三味の音色流れきて初春ま近かに

しずかに聞きいる 奥本洋子

長からぬ生と思えど倫理をば心のよすがに

八十代を楽しむ 杉野和子

吾は今ひ孫抱きしめファミリーの温かき味

しみじみ味わう 長谷川松子

満月と仕事帰りに対峙して高架を走る夕べ

となりぬ 塩出笑子

遠さかる春雷の音聞きながら惰眠むさぼるひとりの夜更け 伊澤潤子

忙しくも時間に追われるそのとき一杯のコーヒー心やすらぐ 飯田隆

アジサイとポインセチア同時に咲く四季を無視して我が庭へに 梅本豊造

フリージアを数個の花瓶に挿し飾るいつしか厨かおりで溢る 梅本和子

濃霧の中朝の集いの会場に着きてホッと胸なで下ろす 門園美枝子

ゆつたりと鯨の背中が出現しまた潜りゆく春の海原 ホン史子

ミス터리読書三昧に明け暮れりや犯人いそぐな外は曇り日 松永典子

早朝の通勤スイスイ車中では好きな人の口聞きぬ 尾崎よしみ

朝晩に母の作ったへちま汁おいしかった味昔なつかし 与那覇寛雄

雪の画布朝日を受けた枯木立影くまやかにレースの模様 森田のりえ

断崖より突然ふわりと現われしペリカンの羽根空の風切る 草野律子

キティちゃんの風船しほみ部屋の前五日過ぎたる娘の誕生日 摺木洋子

坂道を真白き息を吐きながら自転車こぎ行く娘の頬紅色 松元依子

一群と言えども親子の鴉等か少し離れて三羽で飛びゆく 滝川歌子

くきやかに光を受ける蜘蛛の糸雁金草の輝きに似て 矢口裕司